

東京都心部における
森・川・海とそのつながりを基調とした水圏環境教育
-森川海のとつながり意識の質的変容に着目して-
Aquatic Marine Environmental Education Emphasizing
Forest-River-Ocean Nexus (FRON) at Inner-City Area in Tokyo
-Focus on FRON Consciousness-

西山護(東京海洋大学)

水谷史門(東京海洋大学大学院)

佐々木剛(東京海洋大学学術研究院)

【要約】

東京都心部で行われてきた水圏環境教育プログラムでは、プログラム前後の参加者の意識変容について分析が行われてきた。しかしプログラムごとの効果や、参加者の意識変容の推移を段階的に分析しているものはない。本研究では、東京都心部にて実施された水圏環境教育学実習について、参加学生から得られた感想文の自由記述データをプログラム毎に分けて分析を行い、自己決定理論の観点から参加学生の水圏や東京都心部の自然についての認識の変容プロセス、プログラム毎の効果을明らかにすることを目的とした。分析の結果、プログラムの進行に従い、『関係性』、『有能感』、『自律性』の向上が確認され、内発的動機付けが高まっていることが示唆された。また、環境改善に関する願望や具体的な提案の記述が確認され、参加者の主体的な行動へ意欲の高まりを示すものと考えられた。

【キーワード】

水圏環境リテラシー、水圏環境教育学実習、自己決定理論

<http://www.jamee.info/file/jameer/2019/jameer121523.pdf>

<http://www.jamee.info/file/jameer/2019/jameer122427A.pdf> (Appendix)

(本文を開くにはパスワードが必要です。) →日本水圏環境教育研究会

(hypomesus@gmail.com) にご連絡ください。